

市議会だより さつて



※見学・傍聴にあたっては、感染対策を実施しております。

権現堂川小学校の児童が市議会を見学、傍聴しました。👦👧👦

12月定例会のおもなことから

- ・令和3年12月定例会議案等 …… 2～4ページ
- ・各常任委員会での審査 …… 5～7ページ
- ・市政に対する一般質問等 …… 8～15ページ
- ・議決結果の一覧、編集後記 …… 16ページ

No.101
2022年
2月

令和3年 12月定例会

令和3年12月定例会は11月30日から12月21日までの22日間の会期で開かれました。市長提出議案等は条例10件、補正予算6件、都市計画マスタープランの策定1件、人事案件1件の合計18件でした。審査の結果、17件については原案の通り可決・同意されました。1件については、修正案及び修正部分を除く原案が可決されました。

一般質問は13人の議員が市政をただしました。

定例会の 主な提出議案

(議案第88号)
令和3年度一般会計補正
予算(第6号) 及び
(議案第89号)
令和3年度一般会計補正
予算(第8号)

子育て世帯(所得制限あり)への臨時特別給付金は、0歳から高校3年生の子どもたち一人当たり10万円の給付を行う事業で、5万円を現金で、残り5万円をクーポン券で給付すると

なっていました。この現金5万円の給付は、議案第88号予算に計上されました。

その後、国はクーポン給付となっていた5万円を現金給付も可能との方針を示したため、幸手市は一括現金給付とするため、議案第89号が追加で提出されました。

また議案第89号には、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい経済状況にある方の生活を支援するための取組みとして、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金、一世帯当たり10万円の現金給付が計上されています。

両議案とも原案のとおり可決されました。

市長提案の条例案を 一部修正し、可決成立

(議案第77号)
押印及び署名の見直し
に伴う関係条例の整備
に関する条例

条例案のうち幸手市職員の職務宣誓に関する条例及び職員の仕事の宣誓に関する条例において、市長提出の条例案は、宣誓書の署名及び押印を省略。これに対し修正案は、押印のみ省略し、署名は残すというものです。



人事案件

監査委員

内田 潔 氏

を選任することに同意しました。

今年も
よろしく
お願い
いたします



議長

宮杉 勝男

副議長

小林 啓子

議員（議席順）

四本 奈緒美
坂本 達夫
海老沼 隆夫
小林 英雄
枝久保 喜八郎
本田 謡子
小河原 浩和
松田 雅代
木村 治夫
藤沼 貢夫
青木 章
武藤 壽
大平 泰二



幸手市議会議長
宮杉 勝男

市民の皆さまにおかれましては、新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から幸手市議会に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

今もなお収束をみない新型コロナウイルスの影響により、昨年は市議会としても行動の自粛を余儀なくされ、とても心残りの年でありました。

今後も、感染症対策を万全に期した上で、開かれた議会を目指し、市民の皆さまの声が市政に反映されるよう、鋭意努めてまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして幸せで実り多い、希望に満ちた年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



幸手市長
木村 純夫

市民の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より市政運営に格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年より、皆様から多くのご要望をいただいております。市内循環バスの運行が始まりました。また、新型コロナウイルスワクチンの三回目の接種も始まります。

市では、引き続き、新型コロナウイルス対策をはじめ、教育・子育て・医療・福祉・防災等の各事業を、積極的に実施し、未来志向のまちづくりを推進しております。更なるお力添えをいただければ幸いです。

結びに、皆様にとって、充実した一年となりますようご祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和3年12月定例議会
本会議議案質疑内容

（議案第77号）

押印及び署名の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例

質疑

新たに職員となった者が行う宣誓書への署名押印を不要とする根拠と是非について伺います。

答弁

押印及び署名などの見直しは、国主導のもと、地方公共団体等において業務における押印制度の見直しが進められています。服務の宣誓はあくまで、新たに職員となった者に対し、公務員は全体の奉仕者として服務義務が課せられる事を自覚させるため、職員の宣言として行う行為であり、宣誓書に署名押印する行為はなくても、本人から任命権者に宣誓書が提出されたという行為をもって本人の意思を確認できることから、条例上の署名を義務づけることについて実質的な必要はないと判断したものです。

(議案第84号)
令和3年度幸手市一般
会計補正予算(第7号)

質疑

衛生費の中の保健衛生費、第2目の予防費の補正額5億3533万9千円と、新型コロナウイルスワクチン3回目接種の予定、計画を伺います。

答弁

今回の補正予算は、3回目接種に係る費用のほか、12歳以上の1、2回目の接種に係る費用も計上しています。

ワクチン接種期間が令和4年9月まで延長されていますが、令和3年11月までに2回目の接種を終えた方については令和4年7月までに3回目の接種を受けられるよう準備を進めています。なお、対象人数は11月30日時点で4万75人です。具体的な計画ですが、12月・1月の接種対象者は約380人、主に医療従事者の方となります。2月には7300人、3月に約1万5000人、4月に約29000人、5月に約9500人、6月に約7500人、7月に約2千人の接種を見込んでいます。また、接種券については、2回目の接種日から8ヶ月を迎える前

の月に送付し、対象者が多い月には予約時の混雑を緩和するため、2回目の接種日の早い方から順次発送することを検討しています。幸手市は2回目の接種率が約90%と多くの方が2回目の接種を受けております。希望する方が一日でも早く接種が受けられるよう、今後も準備を進めてまいります。

(議案第89号)
令和3年度幸手市一般
会計補正予算(第8号)

質疑

臨時特別給付金の家計急変世帯の確認や認定の方法を伺います。

答弁

令和3年度住民税が課税世帯であるが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年1月以降非課税世帯と同程度となった世帯に対し、申請の際に1か月の収入がわかる書類を添付してもらい審査いたします。



(議案第78号)
幸手市職員の勤務時間、
休日及び休暇に関する
条例の一部を改正する
条例について

賛成討論

四本 奈緒美

令和4年4月から不妊治療への保険適用が実施されます。公明党は20年以上にわたって不妊治療の保険適用に取り組んで来ました。

今回の条例改正は、幸手市職員の、妊娠・出産・育児等と仕事の両立を支援するため、特別休暇として不妊治療休暇を新設するものです。

幸手市職員の不妊治療休暇取得の取り組みが、民間企業等へと拡大していくことを期待し、賛成討論と致します。

(議案第83号)
第2次幸手市都市計画
マスタープランについて

賛成討論

坂本 達夫

第2次都市計画マスタープランは、20年後の幸手市を見据えた都市計画です。西口停車場線は、幸手駅西口と幹線道路をつなぐ重要

な路線です。道路が結ばれることにより、幸手駅西口が利用しやすくなり、賑わいをもたらします。都市計画道路惣新田幸手線バイパスは、圏央道幸手インターチェンジと国道4号バイパスをつなぐ重要な路線です。この道路は、幸手の観光、経済、産業の活性化に深くつながります。これらの構想を実現し、幸手市の着実な発展を願います。賛成討論と致します。

(議案第89号)
令和3年度幸手市一般会計
補正予算(第8号)について

賛成討論

枝久保喜八郎

国の全額補助により実施される18歳以下の子ども一人10万円の子育て世帯への臨時特別給付金は、3つの給付方法からの選択が各自治体に委ねられました。

幸手市では多額の事務経費を要するクーポン及び年を跨ぐ分割給付ではなく、現金10万円の12月27日一括給付を決定しました。

年内の厳しい作業日程にはなるものの、子育て世代を対象とした福祉的観点に配慮した決断は、市民の想いに寄り添うものと大いに評価いたします。

総務常任委員会

押印及び署名の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例(議案第77号)

問 押印及び署名を廃止する目的は。

答 押印及び署名を廃止することが目的ではなく、行政手続きにおける住民負担の軽減及び利便性の向上並びに事務の効率化を図ることが目的である。また、将来的な視点から、申請手続きのオンライン化を促進し、業務フローのデジタル化への取組である。

問 今回の押印及び署名の見直しの中で、押印を廃止しようとする行政手続きは、何件あるのか。

答 押印を必要とする行政手続きの総数は1276件。うち1037件の押印廃止をしようと考えている。

問 幸手市職員の服務宣誓だけは、署名を残すべきと考えるが。

答 新たに職員になるとき、公務

に就く前に職員が宣誓するもので、全体の奉仕者として、自覚し、それを促すための署名であったが、将来のデジタル化を見据え、署名をなくし宣誓書を任命者に提出することをもって本人の自覚を促すものである。

◆修正案の提出

今回提案された条例のうち、幸手市職員の服務宣誓に関するもの及び教育委員会の職員の服務宣誓に関するものに対し、服務の宣誓書の署名及び押印を廃止するとして提案だが、押印は無くしても「宣誓書に署名をして任命権者に提出する」として修正案が提出されました。

提案理由として、市の職員の宣誓は、幸手市の全市民に対する宣誓であり、署名及び押印の廃止目的である市民の行政サービスの向上や事務の効率化には全くつながらない。また、職員着任時の一回だけのことであり、署名だけは行うこととするものである。

修正案及び残りの部分の原案は可決されました。

幸手市土地開発基金条例を廃止する条例(議案第79号)

問 現在の土地開発基金の現金残高と債権残高は。

答 現金残高は、111万9540円、定期預金で運用している。債券残高は、2493万6750円、国債で保有している。

問 基金廃止後、資産はどのような処分されるか。

答 令和4年4月1日以降一般会計に繰り入れされる。

令和3年幸手市一般会計補正予算(第6号)(議案第84号)

問 市税が1億1911万2千円、増額した要因は。

答 現年課税分の個人市民税6600万円の増額については、令和3年度の4月から9月までの調定額24億1742万円と、今後の10月から3月までの調定見込み額5

50万円の合計24億2292万円に対し、これに、コロナ禍の影響を勘案して97%の徴収率と想定し、23億5023万2千円とし、当初予算額を差し引いた6600万円を増額補正した。

続いて、現年課税分の法人市民税5700万円の増額については、令和3年度の4月から9月までの調定額2億1801万2千円と、今後の10月から3月までの調定見込み額1億1510万円の合計3億3311万2千円に対し、コロナ禍の影響を勘案して97%の徴収率と想定し、3億2311万8千円を当初予算額を差し引いた5700万円を増額補正した。

問 ふるさと納税事業業務委託料の内容について。

答 歳入において100万円の増額補正を計上した。その100万円に対し、事務手数料、返礼品代、配送費用等を併せた委託料として、50万円を計上した。

問 財政調整基金を1億5千万円積み増すことで財政調整基金の残高は。

答 残高は、9億7863万4千円となる。

文教厚生常任委員会

幸手市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
(議案第80号)

問 電磁的記録等に関する改正点の具体例は。

答 今回の改正は、事業者が記録作成等、書類で行うことが規定されているものや、保護者と書面でやり取りしていたものを電磁的記録でできるように対応を改めるものである。例えば、保護者が保育施設を決める際に決定する理由となるような重要事項を事業者が保護者に説明することになるが、今後は、メールでの通信やホームページ等に掲載することができるようになる。



令和3年度幸手市一般会計補正予算 第7号
(議案第84号)

問 保健福祉総合センター管理運営費の天神の湯修繕料の内容は。

答 全身浴槽用熱交換器、昇温ポンプ、ジャグジー風呂用バタフライ弁交換、温水循環配管ストレーナー、男女風呂場有圧換気扇、女子サウナ機器、授乳室電気温水器、その他緊急修繕である。



▲天神の湯

問 これだけの不具合が同時に見つかったのか。

答 定期的に点検を行う中で、ひ

び、水漏れ、修繕が必要な兆候が見つかった場合には、少しずつ、予算を考えながら修繕しているところである。

問 天神の湯の運営状況は。

答 昨年12月28日から休館となり、非常事態宣言後に再開を目指していたが、送湯管のポンプからの水漏れが発見され、これを交換していたところ、本体からの水漏れ箇所が発見され、現在、その修繕を行っている状態である。

問 天神の湯を修繕しながら続ける必要性や運営そのものを見直す時期に来ているのではないか。

答 アセットマネジメントの個別施設計画では、2期中の廃止ということで考えていくことになっている。施設を管理する現課としては、それに従って、それまでは修繕をしながら続けていき、修繕では対応できないようなことがあれば、廃止の時期についてはそこで考えていくことになる。

問 衛生費の予防費の新型コロナウイルスワクチン接種関係の各委託料の内容、医療機関への支払い

方法は。

答 今後のワクチン接種に係る予定の金額である。今の契約では来年の2月末までワクチン接種を行うこととなっているが、今後、3回目の接種や接種期間の延長ということで契約変更等をしなければならぬ。医療機関への支払いは、医師の協力ができた日数と看護師の日数を計算して、ひと月に1回になるかと思うが、都度払いをさせていたいただきたいと考えている。

問 学校管理費に長倉小学校のLAN工事費とある。LAN工事はすべて終わったと聞いているが、補正計上する理由は。

答 市内各小学校のLAN配線工事は令和2年度に完了している。今回の補正計上は、長倉小学校において、令和4年度の学級編制で端末を無線でつなぐアクセスポイントを設置していかない会議室を普通教室にしたいとの申し出があり対応するものである。



建設経済常任委員会

幸手市手数料条例の一部を 改正する条例 (議案第81号)

問 法改正により、長期優良住宅に伴う手数料の額がどのように改定されるのか。

答 長期優良住宅の認定に先立ち、今までは登録住宅性能評価機関において、適合書の事前審査を行政に申請があがっていた。それが、令和4年2月20日から適合書が確認書に変更になったことにより行政の審査事務が増えたため、手数料の額が上がったものである。なお、申請件数は年間13件程度の実績である。

幸手市下水道条例の一部を 改正する条例 (議案第82号)

問 条例改正は、流域治水関連法の改正によるものと考えているがその内容は。

答 流域関連法に伴い、下水道法が改正されている。その中で、法第6条に事業計画の要件があり、流域関連法によって第3号が新たに追加された。この第3号には、計画降雨量が定められているものにあつては、排水施設及び終末処理場に関する規定が規定されている。もとの第4号には、流域下水道に接続する公共下水道、流域関連公共下水道に係るものの規定があり、幸手市の公共下水道条例の規定です。第3号が加わることで、流域関連公共下水道の記述が、1個増えたものである。

第2次幸手市都市計画 マスタープランについて (議案第83号)

問 現行の幸手市都市計画マスタープランと比較して、異なる点は何か。また、委託先であるコンサルタントとの合同会議のやり方、開催した回数および作成回数については。

答 現行と異なる点は、人口減少が本格化する中で、全国的に都市計画の考え方としてコンパクトなまちづくりを基本としていることである。具体的には、現行で市街化調整区域における住宅開発の市街化区域への拡大構想などがあつたが、今回については、コンパクトなまちづくりを基本としているため現行のような構想は見込んでいない。また、コンサルタントとの合同会議は令和2年4月7日から8回開催し、作成部数は300部である。



▲将来都市構造（土地利用）図

令和3年度幸手市一般会計 補正予算（第7号） (議案第84号)

問 古川橋架替工事に伴う損傷家屋等補償費の内容は。

答 古川橋架替工事が終了し、家屋等の事後調査を実施した結果、2地権者の建物に影響が生じた。主な内容は、土間コンクリートやタイルのひび、壁の隙間の拡大や外壁の目地切れなどである。補償の積算調整をした結果、2地権者の補償額が320万3070円となった。当初予算で200万円を計上しているため、不足分120万4千円を今回、計上したものである。

令和3年度幸手市公共下水道 事業会計補正予算（第1号） (議案第87号)

問 一般会計からの補助金3468万円の減額により工事に影響が生じないのか。

答 令和2年度決算の未処分利益等の額が確定したこと、令和3年度の工事発注が終了した結果、執行残が発生したこと、一般会計繰入金金を少なくしたいという考えのもと、下水道事業会計に影響しない範囲で減額した。

市政に対する

一般質問

今定例会では、13人の議員が12月1日、2日、3日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

坂本達夫議員

- 市役所本庁舎について
- 洪水対策について
- 令和4年度予算における臨時財政対策債について
- 県道惣新田幸手線バイパスについて

四本奈緒美議員

- 幸手市における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の取り組みについて
- 幸手交差点の音響式信号機について

小林啓子議員

- 子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)の定期接種について

本田謡子議員

- 小学生へのAED使用について
- 災害時の要支援者に対する幸手市の体制について
- 桜の木を守ることにについて
- これからの地域福祉の要となるコミュニティソーシャルワーカーについて
- 幸手市のホームページについて

小河原浩和議員

- 吉田幼稚園園後の跡地の利活用について
- 高平橋の安全と今後の地域活性化について

松田雅代議員

- 事務処理ミスの発生抑止、事務改善について
- 市立吉田幼稚園廃止後の公的幼稚園教育の今後について
- 入所しやすい介護施設の整備について

青木章議員

- 幸手桜高等学校について
- 新型コロナワクチン接種状況等について
- 県営権現堂公園について

小林英雄議員

- 市職員の定年延長について
- 市役所本庁舎建て替えについて

海老沼隆夫議員

- 新型コロナウイルス感染対策他について
- 75歳以上の高齢者の医療費について
- 危険な県道について
- 栄地区のエレベーター設置について
- 市長選公約の実現について

武藤壽男議員

- 農業の現状と市の農業政策について

枝久保喜八郎議員

- 市道1-5号線(香日向中央通り)の交通状況について
- 市街化調整区域における住居系の開発許可について
- 地域脱炭素移行対策について

木村治夫議員

- 幸手中央地区産業団地整備事業について
- 交通安全施設整備事業について
- 地域の特性を活かした観光の振興について

大平泰二議員

- 介護保険について
- 国民健康保険保養施設の利用に関する規則について
- 繰越明許について

12月定例会

傍聴者	28人の方が傍聴されました。		
議会インターネット中継のアクセス件数 インターネットを利用した議会中継(ライブ及び録画)を行っております。			
10月	55件	11月	110件
12月		2019件	
の方が視聴されました。			

3月定例会のお知らせ

2月18日 開会予定です。
詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.city.satte.lg.jp/>

12月1日(本会議)	・閉会
12月2日(本会議)	・議員長報告・質疑・討論・採決
12月3日(本会議)	・議案に対する質疑
12月4日(委員会)	・議案の委員会付託
12月5日(委員会)	・総務常任委員会
12月6日(委員会)	・文教厚生常任委員会
12月7日(委員会)	・建設経済常任委員会
12月8日(本会議)	・議案に対する質疑
12月9日(本会議)	・議案に対する一般質問
12月10日(本会議)	・市政に対する一般質問
12月11日(本会議)	・市長提出議案一括上程、提案理由説明
12月12日(本会議)	・開会・会期の決定・報告事項
12月13日(本会議)	・閉会

12月定例会 会期日程

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ(インターネット映像配信システム)でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 12月定例会の会議録は3月上旬頃公開予定です。

耐震上問題のある市役所本庁舎について



坂本達夫議員

Q 本庁舎は昭和42年8月に完成し、既に54年が経過しています。平成23年、市は耐震診断を実施しました。結果は、大きな地震が来れば本庁舎は耐えられないとのこと。その後市は、平成31年2月、本庁舎を建て替える方針を示しましたが、現在でも何ら改善することなく使用しています。市民や

職員の命にかかわる問題です。直ちに耐震補強工事をすべきです。所見を伺います。
また、方針決定に時間を要するならば、当面は本庁舎を使用しない措置を取れないか、伺います。

A 市役所本庁舎の整備につきましては、庁舎機能や規模など、庁舎のあり方について検討を重ねております。

では、工事実施後の使用可能年数等を勘案し、工事は行わず、建替えの方向で進めております。
また、別の公共施設に行政機能を移転することも考えられますが、移転先の検討等にも時間を要することから、庁舎建替えに向けてスピード感を持って取り組んでまいります。

(総合政策部長)

幸手交差点の音響式信号機について



四本奈緒美議員

Q ヤオコー手前の幸手交差点には、視覚障がい者の方が安全に横断出来る為に、音響式信号機が設置されている。

しかし、現在は4つの横断歩道のうちスピーカーが設置されているのは1つの横断歩道のみで、大変危険な状況であり、視覚障がい者の方からも安全に渡

れる様に改善の要望が寄せられている。

幸手交差点の4つの横断歩道へのスピーカーの設置が必要と考えるが、市の見解と改善策を伺う。

A 音響式信号機の設置については、公安委員会の

所管であるため、視覚障がい者の方が、幸手交差点の4つの横断歩道に音響式の信号機を設置してほしい旨、要望されている

ことを、担当課から幸手警察署に伝え、検討していただく。

(市民生活部長)



子宮頸がん予防ワクチンの定期接種について



小林啓子議員

Q

厚生労働省においては、ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種について、平成25年6月の副反応の発生により積極的勧奨とならないよう留意すること等市町村に勧告をしたが、ワクチンの安全性について特段の懸念が認められないことが確認され令和4年4月より順次実施することとなった。こ

A

令和3年11月26日の厚生労働省からの通知により、令和4年度から積極的勧奨が再開されることとなった。具体的には令和4年度に13歳になる方又はその保護者へ、なるべく早いうちに個別通知を行い、情報提供と周知を行う予定であ

る。加えてこれまで積極的勧奨を受けていない14歳から16歳までの方には、年齢の高い方から個別通知を行う。これらは広報紙やホームページに掲載すると共に、問い合わせに対しては丁寧な情報提供に努める。

(健康福祉部長)

コミュニティソーシャルワーカーの育成を



本田謡子議員

Q

これからの社会や地域福祉の取り組みには、地域の特徴をよく理解し、その地域の専門の方々(医療、民生委員、児童委員、区長、地域住民、ボランティアなど)をつなぎ、地域が主体となり解決していくこうとする体制の要である「コミュニティソーシャルワーカー」の存在が重要となります。

A

現在、民生委員など社会福祉の増進に努めている各分野の方々の協力・連携体制を構築しているところで、大幅な体制整備を必要とする時期ではないと考えています。ただし、市では、総合的な相談

支援体制の充実と重層的支援体制の整備・拡充を目指しています。

今後、この体制の整備・充実を図るためにも、社会福祉分野における地域の専門の方々をつなぐ仕組みとしてコミュニティソーシャルワーカーの活用も含めて研究します。

(健康福祉部長)



松田雅代議員

望まれる入所しやすい介護施設の整備

Q

幸手市では近隣に先がけ、高齢化率が上昇。高齢者のみの世帯や独居高齢者も増えている。また、今後は子ども世代が遠距離で介護をするケースが多くなることが想定される。国は在宅介護を基本とする方針だが、要介護3以上の方が安全で安心して生活を維持するにはやはり施設の整備は欠か

A

市内には入所施設が21か所920床整備されている。特別養護老人ホームに待機者が生じているが、待機者を減らすには他の在宅・入所サービスを組合せて利用していく必

せない。
幸手市における施設整備の現状と入所困難な状況、課題と、施設利用の今後の見通し、課題解決に向けた対策、来年度の対応を伺う。
要がある。今後、施設入所の要望が高まることが見込まれる。特別養護老人ホームについては、地域の実情に合わせた増床について基準の見直しを国・県に働きかけていく。また、公募方式で看護小規模多機能型居宅介護施設の整備を予定する。身体の状態に合わせた施設整備に取り組みたい。

(健康福祉部長)



小河原浩和議員

吉田幼稚園廃園後の跡地の利活用について

Q

吉田幼稚園廃園まで、あと数か月と迫ったが、木村市長はその後の利活用についてどのようにお考えなのか伺う。もし、現時点で決まっていないうのなら、地元の意見や思いを反映出来るようにしてほしい。また、来年4月以降も地域や各種団体等に園庭等の開放等を続けてほしい。

A

既に吉田幼稚園の跡地利用について検討するよう関係部署に指示をしているが、これまで今の幼児教育を大切にしたいという思いから、積極的な議論は差し控えてきた。このため今後の具体的な活用方法は現時点では未定である。よって地元の皆様の声を伺う段階でなく、その機会も設けていないが、各種団体等から要望や提案などはいただいている。なお、来年4月以降の開放等

に向けては、新たなルール作りが必要と考えている。

(市長)



新たに整備中の権現堂公園について



青木 章議員

Q

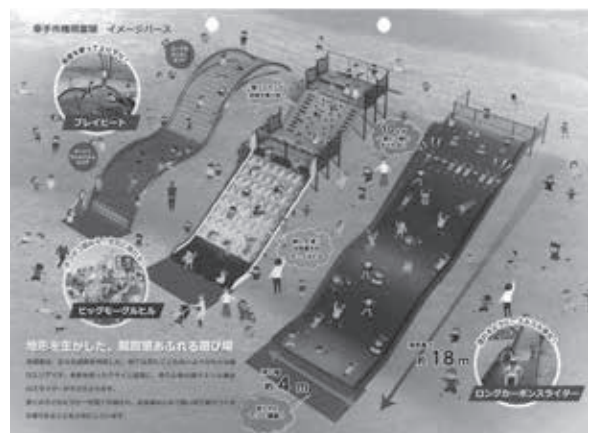
現在整備中の権現堂第2公園には、デイキャンプ場や子供が遊べる大型遊具が設置される予定です。この公園の概要とオープン時期を伺います。また、賑わいのある権現堂公園に市内商工業者が出店できるように対応して欲しい。

A

現在整備中の権現堂第2公園は、「緑に囲まれた水辺のレクリエーションの拠点」として、災害時には「防災公園」として、埼玉県が整備を進めています。開園時期は、令和4年の秋頃を予定しています。

また、権現堂公園の指定管理者と連携して、ご質問がありましたとおり、商工業者の出店について調整し、地元の活性化に繋げていきたいと思えます。

(建設経済部長)



市職員の定年が60歳から65歳まで延長に



小林英雄議員

Q

公務員の定年が、法律改正により令和5年度から段階的に引き上げられ、令和13年度には、65歳定年となる。定年延長により公務が長期的に及ぶ中、組織の新陳代謝、活力を維持するため、管理職が60歳になると、管理監督職務上限年齢制(役職定年制)が導入される。これにより部課長が、定

A

市としては、これまで職員が培ってきた多様な専門的知識や経験を積極的に活用できる環境を整備し、次の世代にその知識や技術、経験などを継承していくことが大切であると考える。

年前に降任することとなり、後継者の育成や、人材の登用が大きな課題となる。女性の登用や、組織の見直しも必要と考える。市の考えを伺う。

また、女性の登用についてもワーク・ライフ・バランスを図り、キャリア形成の支援に努め管理職を目指すような環境づくりが必要と考える。

定年延長制導入後も、組織の活力を維持し、もって公務能力の維持増進が図られるよう組織づくりを進めていく。

(総務部長)



武藤 壽男議員

米の生産者原価と米価の下落の影響は

Q

市内の農業の主業は稲作である。本年は、販売米価が近県よりも安く、8千円程度に下落し、多くの農家経営が赤字となり、危機的状況になっている。

このような中で、市は農家が生産するためにどのくらいの経費が掛かり、生産者原価をどの位と把握されているか伺う。

A

また、この様な状況は本市の農業、農家経営にどんな影響があるか、更に、いろいろな役割を果たしている水田、しいては国土が守れるのか伺う。

農家が米を生産する経費としては、令和2年度において全国平均で10アール当たり11万2506円、60kg当たりでは1万3401円となっている。

市農業の環境は、本年の米価

(建設経済部長)



海老沼 隆夫議員

幸手団地へのエレベーターの設置について

Q

幸手団地自治会では、運動面や文化面などのお知らせを配布して、高齢者の方々にも心身の健康と地域のコミュニケーション形成につなげたいと考えています。しかし5階から階下への上り降りの困難を考えると、参加出来ない方が数多くおられます。この状況を改善するためにも、幸手団地自治会では

A

幸手団地内のエレベーター設置については、令和2年度までに設置に係る現地調査、土質調査を実施し、現在は調査結果等の諸課題に関し、設置の可否を含め検討中である

とUR都市機構から伺っています。当市としては、今後もUR都市機構との情報共有に努めながら、打合せや協議等を行う際は、エレベーターの設置に係る事業の経過についての確に把握しつつ、引き続き住民の方々の声を伝えてまいります。

(総合政策部長)

香日向中央通りの交通及び道路事情について



枝久保喜八郎議員

Q この通りは、行幸小学校交差点から県道3号線

に抜ける迂回道路化しており、超重量大型車による轟音・震動が沿線住民に生活不安を与え、それによる道路の傷みも事故を誘発しかねない現況にあります。住宅街の1車線を通るより、2車線で住宅の少ない県道バイパスを利用しても距離で1:8

キロ、時間で3分ほどしか変わらず、市の補修費負担も軽減されず、市民生活の安心安全のため、道路及び交通管制管轄行政に通行規制等の要望をすることについて、市の見解を伺います。

A 香日向中央通りは、久喜市と幸手市を結ぶ都市計画道路として建設されました。このため、道路幅員などの規格は大型車の通行を想定していることから、大型車の通行

規制は難しいと思われます。しかし、地域の皆様の通勤や通学をはじめ、安心安全な生活を考慮し、県道加須幸手線バイパスに設置されている県道3号線（主要地方道さいたま栗橋線）への直進誘導案内板の移設や増設について、埼玉県に要望してまいります。（建設経済部長）

地域特性を活かした観光振興事業実施は



木村治夫議員

Q (1) 県営権現堂公園を会場とする、令和4年桜まつり実施について市長に伺う。

(2) まちなかの観光資源を有効に活用し、中心市街地への観光客誘致等、市経済を活発にするための対応、対策について市長に伺う。(3) 県営権現堂公園に隣接する臨時停車駅設置の進捗状況について市長に伺う。(4) みんな

でつくる幸せを手にするまち幸手、政策5、にぎわいと活力あふれるまちを形成するための施策について市長に伺う。

A (1) 新型コロナウイルス感染者数は減ってはいるものの、未だに収束には至っていない状況から中止とした。

(2) 主体は、個人やお店・商店街等になります、引き続き商工会と協議しながら支援を行い、特色あるお店づくり・商店街づ

くりにつなげていく。

(3) 東武鉄道からは、一般論ながら臨時的な駅を設置する考えがないとの見解が示されているが、当市との勉強会を今後実施していく同意は得られている。

(4) 交通渋滞緩和や、まちなかの回遊性を向上させる取組等を引き続き実施してまいります。

(市長)

幸手市議会 「議会報告会」について

- 今年度の「議会報告会」は中止します
令和3年度の「議会報告会」は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止することといたしました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。
- 幸手市議会について、ご意見・ご要望をお聞かせください。
今年度の「議会報告会」を中止としたことから、来年度以降の開催に向けて、参加者の増大および内容の更なる充実を図ること、そして今、市議会に対してのご意見やご要望をお聞かせいただきたいと思います。ぜひご協力をお願いいたします。
- 「議会報告会」とは？
幸手市議会では、市民の皆様と市議会議員とが、直接市政全般について、自由に情報交換および意見する場として「議会報告会」を毎年、実施してきました。

提出方法

下記のメールアドレス、ファックスで送信してください。
回答は議会だより令和4年5月号をもって掲載いたします。

- ◎Eメール gikai@city.satte.lg.jp
- ◎F A X 0480-42-8824
- ◎提出期限 令和4年2月28日(月)

3月定例会 会期日程 (案)

- 2月18日(本会議)
・開会・会期の決定・報告事項
・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 2月21日・22日・24日(本会議)
・市政に対する一般質問
- 3月2日(本会議)
・議案に対する質疑・議案の委員会付託
- 3月3日・4日(委員会)
・文教厚生常任委員会
- 3月7日・8日(委員会)
・総務常任委員会
- 3月9日・10日(委員会)
・建設経済常任委員会
- 3月18日(本会議)
・委員長報告、質疑、討論、採決・閉会



大平泰二議員

保養施設の利用に関する補助について

Q

国民健康保険特別会計指定の保養所補助について「旅行代理店の仲介だと交付しない」市の方針を改めることについて。また、令和2年保養所費92万4千円中決算額は14万8千円と十分使われていません。予算の範囲で現行大人2千円を3千円に引き上げることにについて伺います。

A

市の規則で、旅行代理店が仲介した場合の取扱いを制限している自治体は、ほかにありませんでした。ホームページで確認したところ旅行代理店の仲介を禁止していない自治体もあります。多くの方にご利用いただく制度の趣旨に基づき、規則や広報の見直しを検討します。

また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、保養所の利用が大きく減少しま

した。助成額の引き上げは、今後の利用状況を見ながら、国保の運営状況を考慮して検討します。
(市民生活部長)



令和3年12月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 幸手市政クラブ…幸 自民党市議団…自 新政会…政 新緑…緑 日本共産党…共 (○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)
(幸手市長提出議案)

議案番号	議席番号・議員名 議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	付託委員会	議決結果
		四本奈緒美公	坂本達夫自	海老沼隆夫共	小林英雄政	枝久保壽八郎自	宮杉勝男政	本田謡子政	小河原浩和緑	小林啓子公	松田雅代幸	木村治夫自	藤沼貢自	青木章緑	武藤壽男幸	大平泰一共		
議案第73号	幸手市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	—	賛成全員可決
議案第74号	幸手市市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	—	賛成全員可決
議案第75号	幸手市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	—	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	—	賛成多数可決
議案第76号	幸手市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	—	賛成全員可決
議案第77号	押印及び署名の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例に対する修正案について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第77号	押印及び署名の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例に対する修正案を除く原案について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第78号	幸手市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第79号	幸手市土地開発基金条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第80号	幸手市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第81号	幸手市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第82号	幸手市下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第83号	第2次幸手市都市計画マスタープランについて	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第84号	令和3年度幸手市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
議案第85号	令和3年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第86号	令和3年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第87号	令和3年度幸手市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第88号	令和3年度幸手市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	—	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	—	賛成全員可決
議案第89号	令和3年度幸手市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第90号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意

議会広報編集委員

委員長 宮杉勝男
副委員長 小林啓子
委員 四本奈緒美
委員 坂本達夫
委員 海老沼隆夫
委員 本田謡子
委員 小河原浩和
委員 松田雅代
委員 木村治夫

編集後記

幸手市では、高齢者の方を中心とする皆さまの移動手段として、予約制のデマンドバスに替えて、定期コースを回る市内循環バスを再導入。1月4日から運行が始まりました。5コースでの運行を組み合わせると、時刻表は一見複雑ですが、お出かけ目的に合わせた「マイ・便」を見つけて、是非、ご利用いただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種も始まりました。感染防止を徹底しながら、ウイズコロナの暮らしを充実させて参りましょう。